

## ファッションで 子ども・児童を 交通事故から守る！

### ▶ 高視認性安全服 制作コラボレーション ◀

## 最終審査会で グランプリ作品を 決定しました！

一般財団法人ニッセンケン品質評価センター(本部：東京都台東区蔵前、理事長：駒田展大)は、ファッション業界の人材を育てる学校法人文化学園文化服装学院(学院長：相原幸子氏)とコラボレーションし、子どもたちの交通事故予防を図るための「子ども・児童用 高視認性安全服」を制作しました。昨年度に続き、2回目の取り組みです。

2018年12月5日には、学生の皆さんが1年間をかけて一所懸命制作した作品の最終審査会を開催し、グランプリ作品等を決定しました。

当コラボレーションにご協力をいただきました関係者の皆様、特別講義・文化祭・最終審査会にご参加いただきました皆様に改めて感謝を申し上げ、以下にご報告をいたします。

そして、制作された学生の皆様、本当にお疲れ様でした!! ありがとう!!



### ▶▶ 最終審査会 開催概要・結果

日時/会場 2018年12月5日(水)9:50~11:50 / 文化服装学院 B201 ホール

#### 審査結果

グランプリ(1位)  
チーム名【Bee Bee】

ミツバチをイメージした  
レインコート





2位

チーム名【Playful】

子どもが自ら着たいと思える安全服



3位 チーム名【VEST de BEST】

おしゃれでユニセックスなベスト



特別賞 チーム名【CustomiZOO!!!】

動物をモチーフにした安全服

審査内容等

本企画には、文化服装学院・ファッション工科専門課程ファッション工科基礎科 1 年生の 18 グループ(61 名)が参加しました。11 月に開催された同学院文化祭で、完成作品の一般人気投票を行い、獲得票数で上位 10 チームが最終審査会でプレゼンテーションを行いました。当日は、

専門家 11 名による審査を行い、グランプリ(1 位)・2 位・3 位及び特別賞(交通安全教育普及協会賞)を決定。審査ポイントは、「安全性」「ファッション性」「着たくなる・着せたくない」等で、これらを総合的に評価しました。



審査員

専門機関・企業＝田近秀子氏(公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会)、柿本章子氏(主婦連合会)、加藤重樹氏(一般財団法人日本交通安全教育普及協会＝後援)、服部勝治氏(一般社団法人日本高視認性安全服研究所＝後援)鈴木淳子氏(タキヒヨー株式会社)、中原仁子氏(東レ株式会社＝蛍光生地提供)、蓮見隆哉氏(ユニチカスパークライト株式会社＝反射生地提供)  
主催者＝相原幸子学院長＝審査員長＝、野中慶子副学院長、西平孝子グループ長(以上、学校法人文化学園文化服装学院)、駒田展大理事長(一般財団法人ニッセンケン品質評価センター)

当日の取材

アパレル工業新聞、信用情報、繊維ニュース、東京新聞 (50 音順)